

(法第28条第1項関係様式例)

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

(特定非営利活動法人の名称) NPO法人 熊本まちなみトラスト

1 事業の成果

NPO法人熊本まちなみトラスト(KMT)は、平成28年熊本地震から1年後の2017年5月に同名の任意団体からNPO法人化し、2020年度は第4期の事業年度となった。

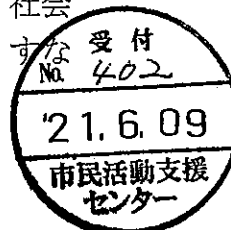
年度当初4月から新型コロナウイルス感染防止緊急事態宣言が熊本でも発せられ(第1波)、5月に予定した年次総会は書面表決にせざるを得なくなった。法人格を持つ団体は少人数でもリアルの総会を開催したうえで書面による表決を確認し議事録を作成、それを会員に通知することが義務づけられていることがわかり、5月25日にパレア第9会議室で理事15人の出席のもとに総会を開催した。その時点でのKMT活動への基本的な認識は『法人設立の主な目的を達成した時点で活動を縮小するか、現状維持・発展を目指すかの選択にあったが、後者すなわち熊本におけるNPO法人としての役割りを強め持続可能性を高めることにした』という総会提案書に表れている。

そのような基本路線のもとで財政交流部会は財政基盤を強くするために法人会員増加のために活動し、歴史まちづくり部会は同年6月に国の認定を受けた熊本市の『くまもと歴史まちづくり計画』推進の応援活動の一つとして10月10日に『歴史まちづくりフォーラム』を開催した。遺産ネット部会は、文化遺産所有者と応援団が集う『地域遺産ファンクラブ』の準備を進め、この度の5月の年次総会と相前後して発足の予定である。これと関連して、KMTが事務局として活動を支えてきた被災文化遺産所有者等連絡協議会の解散総会を2021年3月に書面表決で開催し、同協議会は解散した。

そのように3つの部会活動が始動し活発に続けられたことは2020年度活動の第1の特筆すべき点である。

第2に特筆すべき点は、2020年7月4日未明に人吉球磨地域で発生した豪雨災害からの復旧復興への対応である。磯田節子理事は登録文化財登録(2013年)の縁があり被災直後から人吉旅館と芳野旅館の支援に動いた。WMF(ワールド・モニュメント財団)からもすぐにCRF(Crisis Response Fund)という新しい制度の適用を申し出ていただきKMTからの支援に充てることができた。日本財団からも緊急支援を受けることができ、芳野旅館の復旧支援、人吉市長への要望書の提出、球磨村焼酎蔵の復旧支援活動に役立てることができた。また、災害調査と泥出しボランティア・チームを編成し2度に亘り派遣した。

2020年度における活動の特筆すべき第3の点として、ウィズ・コロナという社会課題への対応アクションがあげられる。2019年に復活した2つの近代化遺産、すな



わち震災からの復旧工事で甦った PS オランジュリと(株)カーリーノという新しい担い手を得た旧住友銀行熊本支店社屋という 2 つの近代化遺産をコロナ禍で公演の機会を奪われている団体の発表の場とするマッチング事業を行った。子どものための演劇やコンサートの公演に長年たずさわっている団体とタイアップすることで子どもたちに歴史的建造物と接する機会をつくることができた。これには J-Coin 基金に応募し採択されることで得た資金を投入することができた。同基金は前述の『地域遺産ファンクラブ』発足会の開催費用にも充当される。

そのような活動に対して、前年の 2019 年度における熊本まちなみトラスト (KMT) の「日本イコモス賞」授賞、富士川事務局長の「荒木精之賞」授賞に引き続き 2020 年度も 11 月に磯田節子理事の「県文化財功労者」表彰、2021 年 3 月に熊本まちなみトラスト (KMT) の「県民文化賞」授賞となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
歴史文化 遺産の顕 彰事業	歴史まちづくりフォーラム	10/10	カーリーノ M S ビル	25	熊本市民 (参加者 : 70 人)	1,938
	コロナ対策環境調査 人形劇の公演 J-Coin 基金による	3/5	カーリーノ M S ビル	15	近隣の五福 幼稚園の園 児・保護者先 生 40 人	
	コロナ対策環境調査 弦楽コンサートの公 演 J-Coin 基金による	3/7	PS オラ ンジュ リ	15	新町古町地 区をはじめ とする地域 住民 40 人	
歴史文化 遺産の保 存・活用 を促進す るための 事業	WMF の助成による 復旧工事費の支援	6/1	清永本 店 P S オ ランジュ リ	3	被災文化遺産所有者 2 人	2,025
	WMF の緊急支援に よる人吉豪雨災害復 旧活動	9/4 9/20	人吉旅 館等	12	人吉市民 旅館経営者 者 他	1,369

	日本財団支援による 人吉豪雨災害復旧活動	7/19 11/8	球磨村 一勝地 等		人吉市民 焼酎蔵経営 者 他	
歴史文化 遺産の顕 彰・保 存・活用 に関する 広報・出 版事業	ホームページ、 facebook、twitter の運 営	平成 30年4 月～ 平成 31年3 月		3	熊本県市民 活動に連帯 する人たち	89
歴史文化 遺産を活 用した不 動産事業	今年度は活動無し					0
歴史文化 遺産活用 のための 物品販 売・サー ビス事業	今年度は活動無し					0
その他当 法人の目 的を達成 するため に必要な 事業	今年度は活動無し					0
合 計						5,422

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

法人名: NPO法人 熊本まちなみトラスト

令和2年度 活動計算書 (3月31日実績)

令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
個人正会員受取会費	180,000		
個人賛助会員受取会費	36,000		
法人正会員受取会費	240,000	456,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	290,000	290,000	
3. 受取助成金等			
お金をまわそう基金	99,800		
WMF1(熊本地震復旧工事費)	2,023,690		
WMF2(人吉豪雨災害緊急支援)	1,043,780		
日本財団(人吉豪雨支援助成)	1,000,000		
J-Coin財団(コロナ対応支援助成)	1,815,000	5,982,270	
4. 事業収益			
ICOMOSからの調査委託	528,000	528,000	
5. その他収益			
受取利息	13		
		13	
経常収益計			7,256,283
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会場費	48,620		
印刷製本費	161,960		
諸謝金	474,302		
旅費交通費	184,240		
消耗品費	1,869		
通信運搬費	98,323		
支払手数料	5,610		
外注費	2,393,600		
修復支援金(WMF)	2,023,690		
保険料	9,861		
雑費	20,151		
その他経費計	5,422,226		
事業費計		5,422,226	
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	366,000		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
人件費計	366,000		
(2)その他経費			
会場費	50,050		
印刷製本費	657		
外注費	82,500		
旅費交通費	30,165		
消耗品費	1,467		
通信運搬費	40,043		
租税公課	1,650		
支払手数料	8,207		
会議費	2,940		
雑費	370		
その他の経費計	218,049		
管理費計		584,049	
経常費用計			6,006,275
当期正味財産増減額			1,250,008
前期繰越正味財産額			681,281
次期繰越正味財産額			1,931,289

法人名： NPO法人 熊本まちなみトラスト

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,931,289		
流動資産合計		1,931,289	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,931,289
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		681,281	
当期正味財産増減額注1		1,250,008	
正味財産合計			1,931,289
負債及び正味財産合計			1,931,289

注1 当期正味財産増減額 活動計算書参照

計算書類の注記(第4期)

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

1) 事務局スペースの運営は、水道光熱費・電話・コピー機使用等を一括して月5万円の家賃として支払うという原則でしたが、「全体事業費が単年度赤字を出さない限り」という条件付であったため、今期の家賃支払は無しとしました。
コピー代等の必要経費は事務局スペースのオーナー負担となりました。

2) 中央区新町2丁目の文林堂様のご好意により無料で地下のホールを会議室として提供いただいています。

(3) ボランティアによる役務の提供

私たちの活動は会員のボランティアで成り立っています。今期は詳細の注記はしておりません。

基本的に「活動を実施する上で経費は負担するが、その労力は無料」との考えで運営しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	A歴史文化遺産の顕彰事業	B歴史文化遺産の保存・活用を促進する事業	B-2(熊本地震からの復旧工事支援事業)	C歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業	D事業収益(歴史文化遺産を活用した不動産事業)	E事業収益(歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業)	合計
(1) 人件費 給料手当 イベントバイト代 法定福利費 人件費計							0 0 0 0
(2) その他経費 印刷製本費 会議費 会場費 研修費 雑費 支払手数料 諸会費 諸謝金 消耗品費 租税公課 通信運搬費 旅費交通費 外注費 修復支援金(WMF) 調査費 保険料 その他経費計	0 7,960 3,410 384,302 2,455 1,540,000	0 154,000 48,620 20,151 770 90,000 1,869 6,768 853,600 9,861	1,430 2,023,690	89,100	0	0	0 161,960 0 48,620 0 20,151 5,610 0 474,302 1,869 0 98,323 184,240 2,393,600 2,023,690 0 9,861 0
合計	1,938,127	1,369,879	2,025,120	89,100	0	0	5,422,226

※C事業はB事業経費に含まれ分離するのが困難でしたが、「機材費」として計上されていたパソコン修理費用(全費用の中で「機材費」はこれ1件でした)をBからCに移動させ、この表では「通信運搬費」の科目に計上しました。

3. 固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

4. 借入金が増減内訳

借入金はありません。

5. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内容	前期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
1 WMF(ワールド・モニュメント財団)	0	2,023,690	2,023,690	0	
2 WMF-CRF(人吉豪雨災害対応)	0	1,043,780	1,043,780	0	
3 日本財団	0	1,000,000	1,000,000	0	事業期間延長
4 J-Coin基金	0	1,815,000	1,815,000	0	事業期間延長
5 清永本店復興基金	0	10,000	10,000	0	締切後に1件
合計	0	5,892,470	5,892,470	0	

法人名： NPO法人 熊本まちなみトラスト

財産目録

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目・摘 要	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	492,838		
郵便貯金	2		
振替口座(A60)	0		
振替口座(B84)	1,000		
肥後銀行(K支店C28)	1,367,445		
肥後銀行(K支店D48)	70,004		
流動資産合計		1,931,289	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,931,289
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			1,931,289